

1. 科目名 (単位数)	教育学概論 (中等) (2 単位)		3. 科目番号	GELA1314 EDTS1101
2. 授業担当教員	新井 英男		5. 開講学期	春期
4. 授業形態	講義、ディスカッション			
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	<p>本科目は教育という営みに深い関心を持ち、「教育とは何か」ということを考え始めている人に対し、教育(学)の基本的な概念と基礎理論について概括することを通して、受講者一人ひとりが、教育(学)の観点から今日の「子ども」を取り巻く環境の変化をふまえた「よりよい教育」のあり方を考える上で土台となる教育の理念・歴史及び思想に関する基礎的知識の修得を目的とする。</p> <p>具体的には、人間の営みとしての教育の歴史において、どのような教育思想が、どのように現れてきたかについて学ぶとともに、今日的な教育の理念や思想、理論の意義について、子ども・教育方法・学校教育等の観点からとらえ直し、受講者同士の対話をとおして理解を深めて行く。</p>			
8. 学習目標	<p>本講義は、本科目の目的を達成するために、以下の目標を設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育に関する多様な考え方にふれることを通して、今日の教育的事象に関心をもつことができる。 2. 「子どもの発見」以来の子ども観の変遷について理解した上で、「人間形成」という観点から教育について考えることができる。 3. 時代や社会の変化に応じて様々な教育思想や理論が生み出されてきたが、それらの今日的な意義について理解を深め、「よりよい教育とは何か」を考えることができる。 			
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	事前学習として、教科書に基づいたワークシートを自分なりに仕上げた上で授業に臨みましょう。レポート課題についての詳細は、授業の中で説明します。			
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 勝野正章・庄井良信『問いからはじめる教育学』[改訂版] 有斐閣、2022年。</p> <p>【参考書】 安彦忠彦・藤井千春・田中博之編著『新版よくわかる教育学原論』ミネルヴァ書房、2020年。 今井康夫編『教育思想史』有斐閣アルマ、2009年。 田嶋一・中野新之祐・福田須美子・狩野浩二『やさしい教育原理[第3版]』有斐閣アルマ、2016年。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』第6版 中央法規、2022年。 湯川次義編『最新 よくわかる教育の基礎』学文社、2019年。</p>			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育学の基本的概念・教育に関する歴史・思想を理解し、自分の言葉で説明できる力を身につけたか。(知識・理解) 2. 教育理解に関する柔軟さ、教育実践に求められる態度・姿勢を身につけることができたか。(関心・意欲・態度) 3. 教育学に関する基本的な理論を理解した上で、教育という営みを再考することができるようになり、ディスカッションや発表を通して自分の意見を伝える力を身につけることができたか。(判断力・表現力) <p>以上の観点をもとに、上記の1～3によって評価する。</p> <p>○評定の方法</p> <p>【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への取り組み姿勢 (ディスカッションやグループワークへの積極的参加度) 総合点の30% 2. 授業内での課題提出 (小テスト・中間レポート等) 総合点の40% 3. 期末課題 総合点の30% 			
12. 受講生への メッセージ	<p>自立した教師であるためには、現在の教育内容・方法に至る経緯についての理解が必要です。この科目では、時代や社会と共にある教育について考えます。</p> <p>講義内では、学生による発表とそれに基づく討議の機会を多く取り入れ、個々の理解を深めていきます。そのため、毎回の事前学習が積極的な授業参加の前提となります。主体的に学び、「不易と流行」を自問できる教師を目指しましょう。</p>			
13. オフィスアワー				
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	ガイダンス -あなたの教育観をみつめてみよう-	事前学習	シラバス及び教科書第1章に目を通し、教育のイメージをまとめておくこと。	
		事後学習	本講義の学び方について復習するとともに、他の受講者の意見から学んだことについてレポートすること。	
第2回	教育の原義・必要性・教育的価値について -ルソー・カント・ランゲフェルトの思想を中心に-	事前学習	教科書 pp.4~15 を読み、教育の原義、人間に必要な「教育」について自分の意見をまとめておくこと。	
		事後学習	教育に関する探求の手がかりに関して、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。	
第3回	教育の意義・目的について -デュルケームの思想を中心に-	事前学習	教科書 pp.16~26 を読み、教育の意義・目的・社会的機能について自分の意見をまとめておくこと。	
		事後学習	社会や国家と教育との関係について、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。	
第4回	「子ども」に関する歴史・思想 -ペスタロッチ・ルソー・アリエスの思想を中心に-	事前学習	教科書 pp.28~42 を読み、子ども観の歴史的変遷に関する調べ学習を行って行くこと。	
		事後学習	教育学の「古典」を学ぶことの意味について、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめること。	

			とめたレポートを作成すること。
第5回	「教育方法」に関する歴史・思想 -コメニウス・ヘルバルト・ルソー・フレーベル・デュ ーイの思想を中心に-	事前学習	教科書 pp.44~58 を読み、教育方法の歴史に 関する調べ学習を行ってこること。
		事後学習	教え方の歴史を振り返り、これからの教育に おいて、どのような教え方が求められるか、 自らの意見をまとめたレポートを作成する こと。
第6回	「子どもの権利」に関する歴史・思想	事前学習	教科書 pp.59~73 を読み、義務教育や教育を 受ける権利に関する調べ学習を行ってこ ること。
		事後学習	あなたの身近にある子どもの権利に関する 事例を取り上げてレポートを作成すること。
第7回	「公教育制度としての学校教育」の理念に関する歴史的 変遷	事前学習	教科書 pp.74~91 を読み、公教育制度として の学校教育について理解してこること。
		事後学習	今日の公教育制度としての学校教育につい て学んだことを他の受講者にわかりやすく 説明できるレポートを作成すること。
第8回	「近代学校」に関する歴史・思想 -デューイの思想と「大正自由教育」を中心に	事前学習	教科書 pp.94~109 を読み、「学校の役割」に ついて、自らの意見をまとめてこること。
		事後学習	「子どものための学校」について、他の受講 者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレ ポートを作成すること。
第9回	「学校教育」と文化に関する歴史・思想 -「隠れたカリキュラム」・「学校化」を中心に-	事前学習	教科書 pp.110~124 を読み、「学校で学ぶ内 容」について理解してこること。
		事後学習	「学校で何を学ぶべきか？」について、他の 受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめ たレポートを作成すること。
第10回	「教師像」「教師論」に関する歴史・思想	事前学習	教科書 pp.125~137 を読み、歴史的に「よい 教師」はどのようにイメージされてきたか について理解してこること。
		事後学習	「教師の専門性」について、他の受講者の意 見をふまえ、自らの意見をまとめたレポート を作成すること。
第11回	教師と子どもの関係性 —子ども理解と生徒指導の観点から—	事前学習	教科書 pp.138~152 を読み、教師と子ども のよりよい関係について理解してこること。
		事後学習	「教育的関係性とは何か」という問いに対す るレポートを作成すること。
第12回	「学習」「学び」に関する歴史・思想	事前学習	教科書 pp.153~169 を読み、自分が深く学ん だと思われる経験についてまとめてこること。
		事後学習	「子どもがよく学ぶために必要なこと」につ いて、他の受講者の意見をふまえ、自らの意 見をまとめたレポートを作成すること。
第13回	「生涯学習」「社会教育」に関する歴史・思想-ラングラ ン・フレイレ・イリイチの思想を中心に-	事前学習	教科書 pp.170~180 を読み、生涯学習・社会 教育の理念を理解してこること。
		事後学習	身近な生涯学習・社会活動の実践に関するレ ポートを作成すること。
第14回	教育と学校の未来について -現代思想による学校教育批判を中心に-	事前学習	教科書 pp.181~190 を読み、これからの教育 のあり方について、自らの意見をまとめてこ ること。
		事後学習	「教育と学校の未来」について、他の受講者 の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポ ートを作成すること。
第15回	まとめ	事前学習	教科書、配布資料を読みなおし、これまでの 14回の授業内容をふりかえってこること。
		事後学習	授業内容を踏まえたうえで、理解が不足して いた点を再度学習する。
期末試験			